

作物統計調査
令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

令和7年産主食用米収穫量は、56万トンの増加(1.70mmベース)との当初の予想を上回り、前年に比べ63万4千トンの増加(生産者が使用しているふりい目幅ベース)。予想収穫量は平成29年以来最高の見込み。

【調査結果の概要】

- 1 令和7年産の水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふりい目幅1.85mm、1.90mm等ベースの予想収穫量(主食用)※1は715万3,000tで、前年産に比べ63万4,000t増加と見込まれる。

※1 生産者が使用しているふりい目幅1.85mm、1.90mm等ベースのふりい上米

これは、

- ① 作付面積(主食用)が、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったため、136万7,000haで、前年産に比べ10万8,000ha増加と見込まれることに加え、
② 9月25日現在における全国の10a当たり予想収量(生産者が使用しているふりい目幅ベース)は、一部地域で5月上旬から6月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたため、524kgで、前年産に比べ5kg増加と見込まれるためである。

- 2 全国の作況単収指数は102と見込まれる。各都道府県の作況単収指数は、統計表のとおりである。

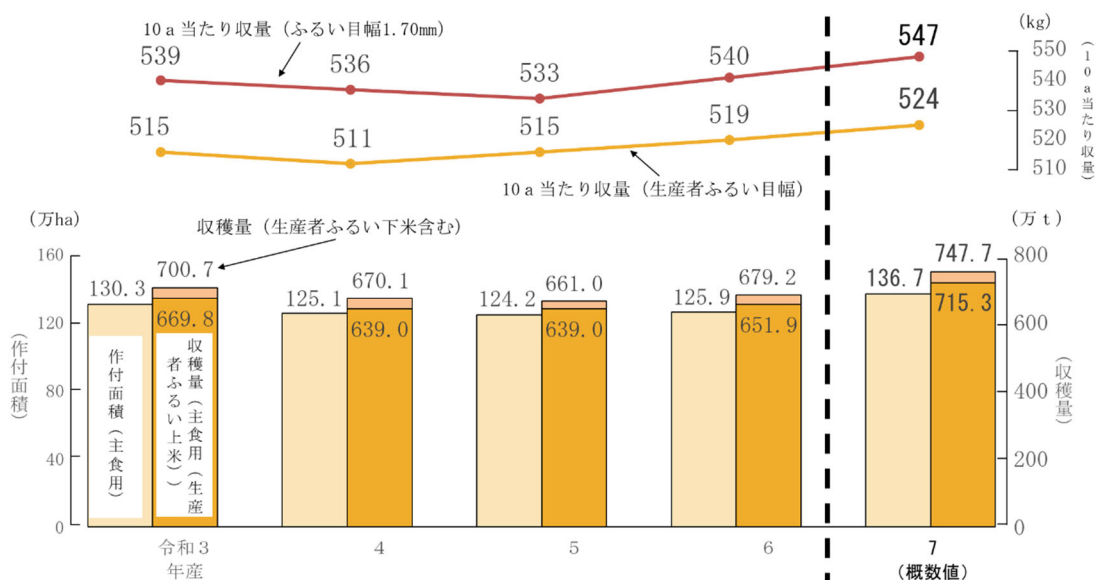
参考

令和7年産の水稻の9月25日現在のふりい目幅1.70mmベースの予想収穫量(主食用)※2は747万7,000tで、前年産に比べ68万5,000t増加と見込まれる。

※2 生産者が使用しているふりい目幅1.85mm、1.90mm等ベースのふりい下米を含む。

- 今回から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふりい目幅1.85mm、1.90mm等で収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量(主食用)として公表していたふりい目幅1.70mmの収穫量(主食用)は、令和7年産以降、収穫量(主食用(生産者ふりい下米含む))と表記することとした。

図 水稻の作付面積(主食用)、10a当たり収量及び収穫量の推移(全国)



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（5ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和7年産は予想）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である（令和7年産は予想）。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者ふる い下米含む))		
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成7年産	2,110,000	...	...	...	...	509	94	...	103
8	1,980,000	...	...	...	...	525	103	...	106
9	1,950,000	...	...	...	...	515	98	...	100
10	1,800,000	...	...	...	...	499	97	...	97
11	1,786,000	...	...	...	...	515	103	...	100
12	1,768,000	...	...	...	...	537	104	...	105
13	1,711,000	...	...	...	...	532	99	...	103
14	1,693,000	...	...	...	...	527	99	...	101
15	1,670,000	...	...	...	...	469	89	...	89
16	1,704,000	...	...	...	...	514	110	...	98
17	1,709,000	...	...	...	...	532	104	...	102
18	1,692,000	...	...	...	...	507	95	...	97
19	1,678,000	...	...	...	...	522	103	...	101
20	1,637,000	1,596,000	...	...	...	543	104	8,658,000	106
21	1,637,000	1,592,000	...	...	...	522	96	8,309,000	100
22	1,657,000	1,580,000	...	...	...	522	100	8,239,000	99
23	1,632,000	1,526,000	...	...	...	533	102	8,133,000	102
24	1,641,000	1,524,000	...	...	...	540	101	8,210,000	103
25	1,647,000	1,522,000	...	...	...	539	100	8,182,000	101
26	1,639,000	1,474,000	...	...	...	536	99	7,882,000	101
27	1,623,000	1,406,000	515	nc	7,228,000	531	99	7,442,000	99
28	1,611,000	1,381,000	531	103	7,322,000	544	102	7,496,000	101
29	1,600,000	1,370,000	517	97	7,077,000	534	98	7,306,000	99
30	1,592,000	1,386,000	511	99	7,081,000	529	99	7,327,000	99
令和元	1,584,000	1,379,000	514	101	7,061,000	528	100	7,261,000	99
2	1,575,000	1,366,000	508	99	6,906,000	531	101	7,226,000	99
3	1,564,000	1,303,000	515	101	6,698,000	539	102	7,007,000	100
4	1,545,000	1,251,000	511	99	6,390,000	536	99	6,701,000	100
5	1,531,000	1,242,000	515	101	6,390,000	533	99	6,610,000	101
6	1,514,000	1,259,000	519	101	6,519,000	540	101	6,792,000	101
7 (概数値)	1,520,000	1,367,000	524	101	7,153,000	547	101	7,477,000	102

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 作況単収指数は、10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。また、平成7年産から令和元年産までの作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

【調査結果】

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は136万7,000haで、前年産に比べ10万8,000ha増加が見込まれる。これは、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったためである。
- 2 9月25日現在における全国の10a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、524kg（前年産に比べ+5kg）と見込まれる。

これは、一部地域で5月上旬から6月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたためである。

これを地域別にみると、以下のとおりである。

北海道においては、6月上旬までの日照不足により全もみ数がやや少なくなったこと等から、550kg（前年産に比べ△12kg）と見込まれる。

北海道と沖縄県を除く各地域では、6月中旬までの低温、日照不足により、東北、関東等では穂数が少ない地域がみられたものの、6月下旬以降おおむね天候に恵まれ、多くの地域で全もみ数が前年以上に確保されたこと等から、東北は556kg（同±0kg）、北陸は516kg（同+6kg）、関東・東山は524kg（同△5kg）、東海は493kg（同+19kg）、近畿は504kg（同+16kg）、中国は516kg（同+18kg）、四国は489kg（同+18kg）、九州は479kg（同+13kg）と見込まれる。

沖縄県は、田植期以降、4月下旬まで低温で推移したこと等から、305kg（同△14kg）と見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は715万3,000t（前年産に比べ63万4,000t 増加）と見込まれる。
- 4 全国の作況単収指数は102と見込まれる。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は747万7,000t（前年産に比べ68万5,000t 増加）と見込まれる。

○ 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。

表 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び9月25日現在の予想収穫量
（全国農業地域別）

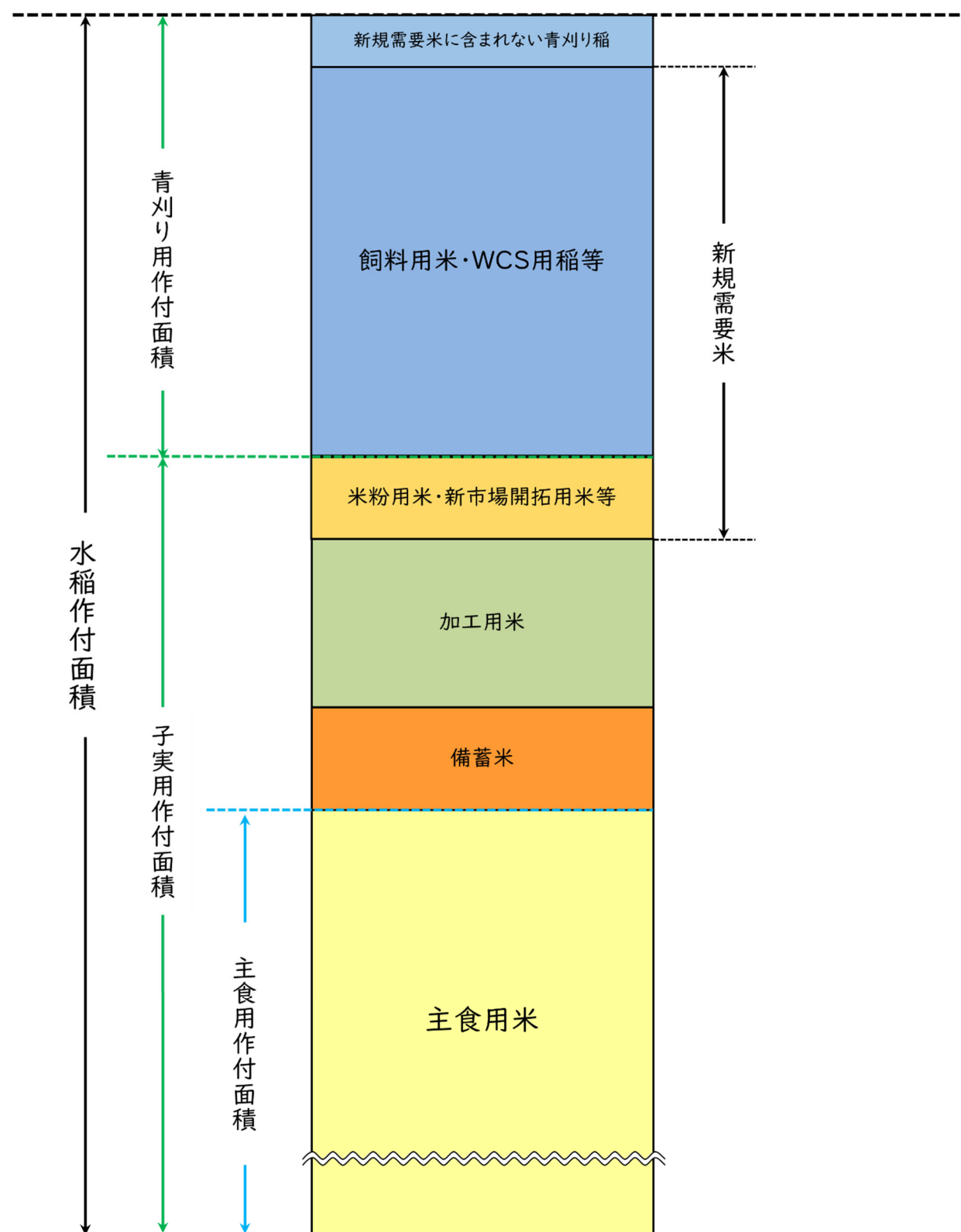
全 国 農業地域	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別				
	実 数 ①	前年産との比較		10a当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））		
				実 数 ②	前年産との比 較	実 数 ③＝①×②	前年産との比較	
		対 差	対 比				対 差	対 比
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%
全 国	1,367,000	108,000	109	524	101	7,153,000	634,000	110
北 海 道	90,400	6,700	108	550	98	497,200	26,800	106
東 北	361,100	41,300	113	556	100	2,009,000	233,000	113
北 陸	187,700	11,900	107	516	101	968,900	72,900	108
関 東・東 山	260,700	25,700	111	524	99	1,367,000	123,000	110
東 海	87,000	3,600	104	493	104	428,700	33,100	108
近 畿	93,500	2,900	103	504	103	471,500	29,500	107
中 国	92,700	2,300	103	516	104	479,600	29,600	107
四 国	43,700	1,400	103	489	104	213,400	14,000	107
九 州	149,500	11,300	108	479	103	715,800	72,600	111
沖 縄	597	40	107	305	96	1,820	40	102

全 国 農 業 地 域	ふるい目幅1.70mmで選別					作況 単収 指数
	10 a 当たり予想収量		予想収穫量 (主食用(生産者ふるい下米含む))			
	実 数 ④	前年産との 比較	実 数 ⑤=①×④	前年産との比較		
		対 比		対 差	対 比	
	kg	%	t	t	%	
全 国	547	101	7,477,000	685,000	110	102
北 海 道	573	97	518,000	22,500	105	98
東 北	585	100	2,113,000	248,000	113	101
北 陸	540	101	1,013,000	74,200	108	101
関 東・東 山	543	100	1,415,000	133,000	110	100
東 海	508	104	441,200	33,700	108	103
近 畿	527	104	493,200	33,600	107	104
中 国	540	105	501,900	38,900	108	104
四 国	503	105	219,400	15,800	108	104
九 州	508	104	760,600	84,600	113	103
沖 縄	311	95	1,860	40	102	97

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量（②）については、都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10a当たり予想収量（④）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米を含む））（⑤）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。
- 7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米及び生産者ふるい下米を含む））の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量（前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く））の加重平均を用いた。

【参考 1】

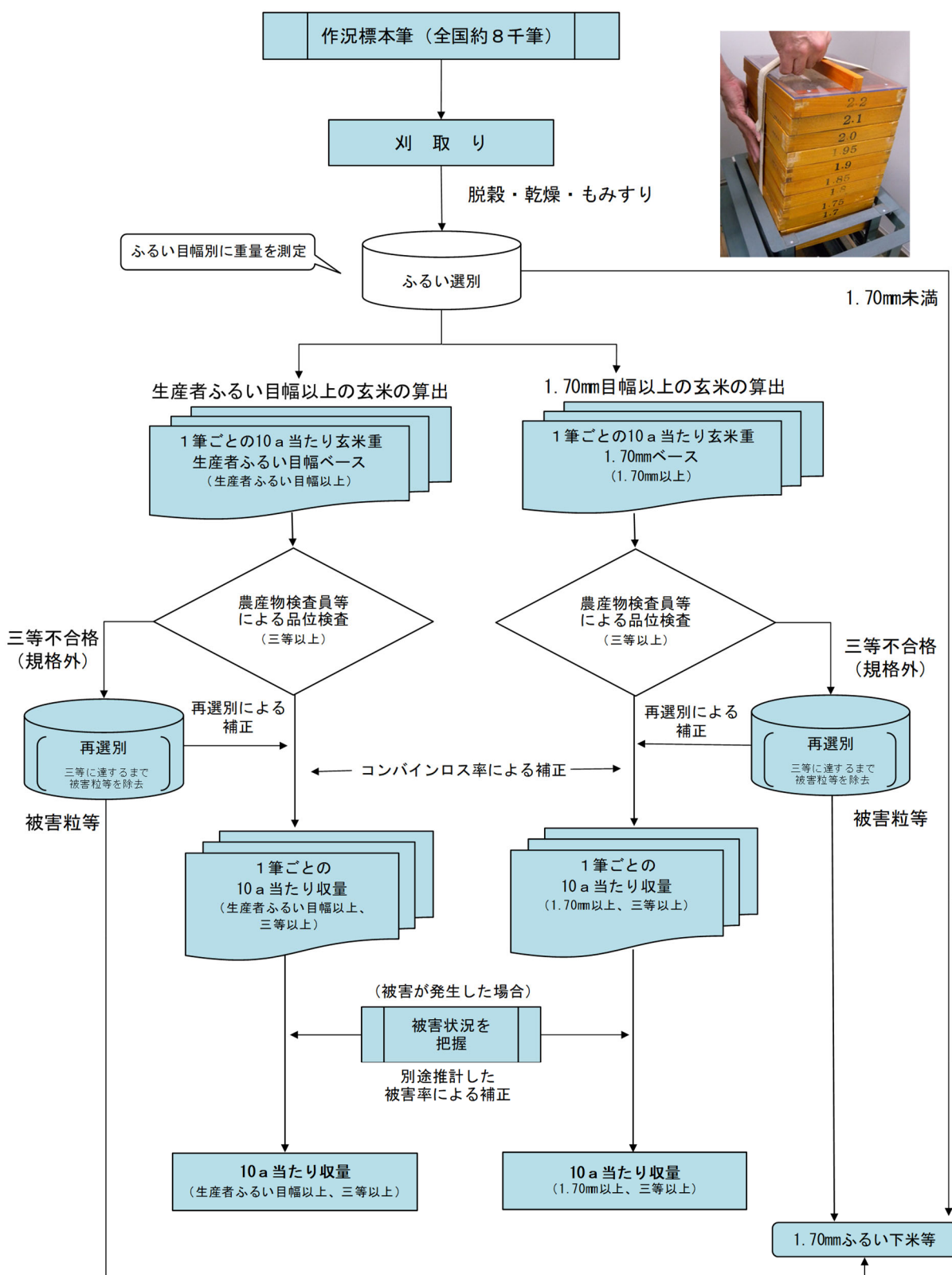
水稻作付面積の概念図



【参考 2】

刈取り調査における 10 a 当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い 10 a 当たり収量を算出している（下図参照）。

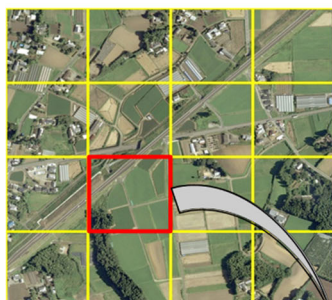


【参考3】

作況標本^{ふで}筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



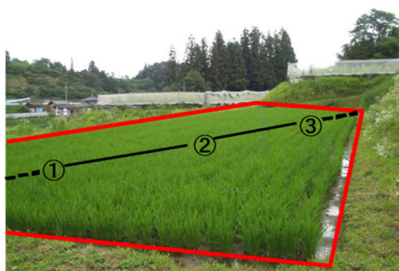
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約8千筆）

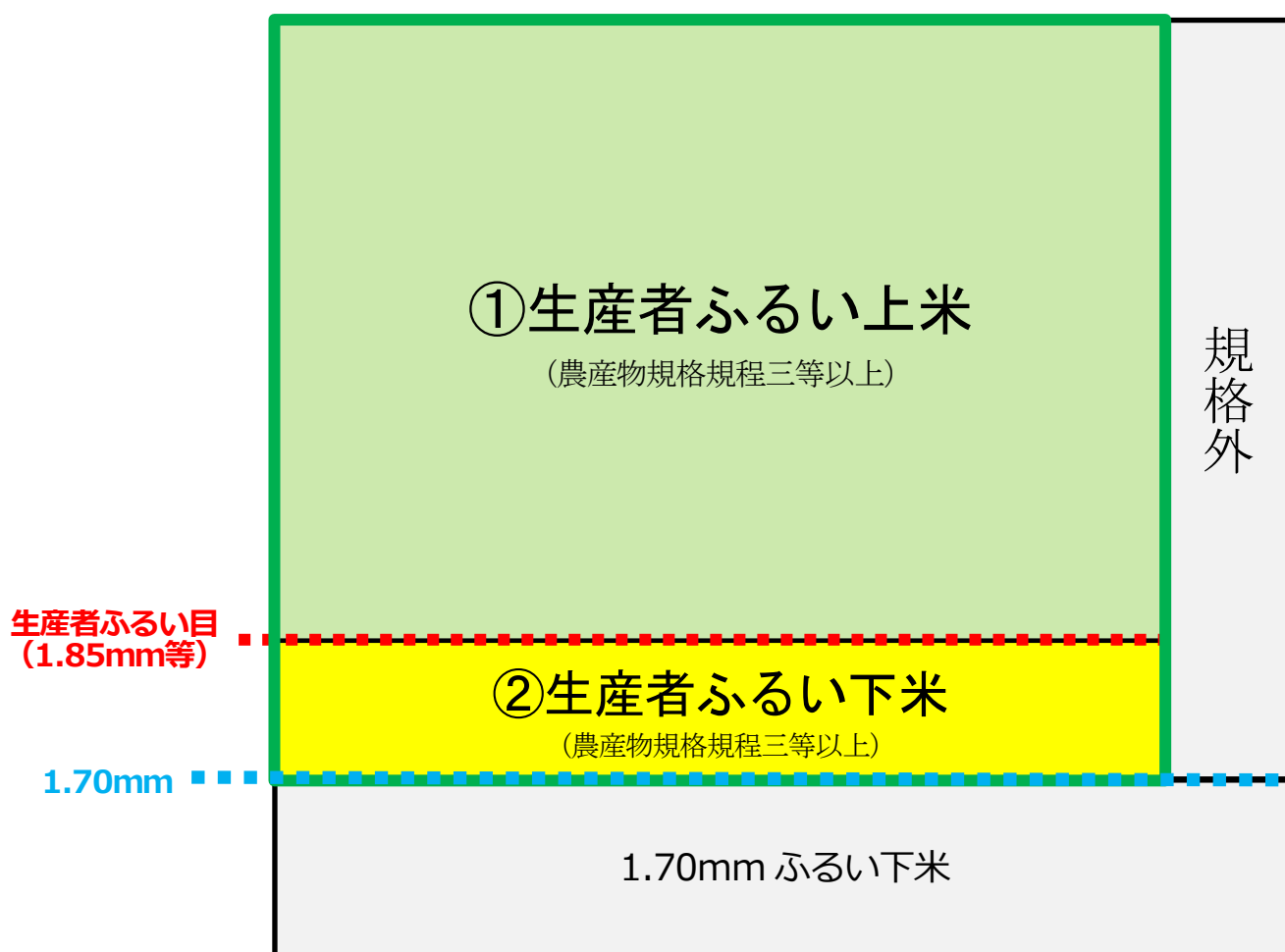


- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考 4】

水稻収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、都道府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.85、1.90mm 等）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040321385&ext=xls>

【調査の概要】

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定め
ることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び
検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産
量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、か
んしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載
（令和8年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和7年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関
する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事
業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測
の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っ
ている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

【目次】

統計表

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

調査の概要

本調査の「調査の概要」は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査(水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
- 「0」： 単位に満たないもの (例：0.4ha→0 ha) 又は増減がないもの
- 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
- 「△」： 負数又は減少したもの
- 「nc」： 計算不能

- 3 収量構成要素 (前年比較) とは、前年の作況標本筆の実測調査結果との比較であり、次のとおり5段階で表している。

収量構成要素の前年比較区分	少ない	やや少ない	前年並み	やや多い	多い
対前年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 4 この資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載 (令和8年2月予定) する。

- 5 10a 当たり予想収量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

なお、次回 (10月25日現在) の公表は、令和7年11月中旬の予定である。

- 6 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」 (農林水産省) による旨を記載してください。

【統計表】
令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

全国農業地域 都道府県	作付面積 (青刈り面積を含む。)			作付面積(主食用)			生産者が使用しているふるい目幅で選別						B 予想収穫量(生産者ふるい下米)			
							10 a 当たり予想収量			A 予想収穫量 (主食用(生産者ふるい上米))						
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較		最も多い 使用割合 の目幅	実 数 ②	前年産との 比較	実 数 ③=①×②	前年産との 比較	実 数 ④=⑥-③	実 数		前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比							対 差	対 比	対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	mm	kg	%	t	t	%	t	t	t	%
全 国 (1)	1,520,000	6,000	100	1,367,000	108,000	109	…	524	101	7,153,000	634,000	110	324,000	△	4,300	119
(全国農業地域)																
北 海 道 (2)	106,100	3,300	103	90,400	6,700	108	1.90	550	98	497,200	26,800	106	20,800	△	4,300	83
東 北 (3)	402,000	1,800	100	361,100	41,300	113	…	556	100	2,009,000	233,000	113	104,000	△	15,000	117
北 陸 (4)	205,900	600	100	187,700	11,900	107	…	516	101	968,900	72,900	108	44,100	△	1,300	103
関東・東山 (5)	284,700	△	600	260,700	25,700	111	…	524	99	1,367,000	123,000	110	48,000	△	10,000	126
東 海 (6)	94,100	△	400	87,000	3,600	104	…	493	104	428,700	33,100	108	12,500	△	600	105
近 畿 (7)	98,400	△	400	93,500	2,900	103	…	504	103	471,500	29,500	107	21,700	△	4,100	123
中 国 (8)	99,200	△	900	92,700	2,300	103	…	516	104	479,600	29,600	107	22,300	△	9,300	172
四 国 (9)	45,800	△	200	43,700	1,400	103	…	489	104	213,400	14,000	107	6,000	△	1,800	143
九 州 (10)	183,300	1,800	101	149,500	11,300	108	…	479	103	715,800	72,600	111	44,800	△	12,000	137
沖 縄 (11)	666	23	104	597	40	107	1.80	305	96	1,820	40	102	40	△	0	100
(都道府県)																
北 海 道 (12)	106,100	3,300	103	90,400	6,700	108	1.90	550	98	497,200	26,800	106	20,800	△	4,300	83
青 森 (13)	49,300	600	101	43,700	6,500	117	1.90	600	100	262,200	39,700	118	9,200	△	100	99
岩 手 (14)	53,000	200	100	46,900	3,800	109	1.90	534	98	250,400	15,100	106	10,800	△	900	109
宮 城 (15)	73,600	600	101	65,300	6,900	112	1.90	522	95	340,900	19,700	106	22,200	△	2,900	115
秋 田 (16)	89,200	1,200	101	81,200	9,000	112	1.90	559	101	453,900	55,400	114	29,200	△	7,500	135
山 形 (17)	66,600	△	200	57,100	4,700	109	1.90	585	106	334,000	44,200	115	15,500	△	200	99
福 島 (18)	70,300	△	500	67,000	10,500	119	1.85	549	101	367,800	59,300	119	16,800	△	3,800	129
茨 城 (19)	73,500	0	100	66,700	6,800	111	1.85	510	98	340,200	26,900	109	14,000	△	2,600	123
栃 木 (20)	67,000	100	100	58,100	9,100	119	1.85	517	99	300,400	45,100	118	14,500	△	5,200	156
群 馬 (21)	15,800	△	200	14,700	1,900	115	1.80	496	103	72,900	11,100	118	3,000	△	900	143
埼 玉 (22)	31,900	100	100	30,600	2,200	108	1.80	471	102	144,100	12,600	110	4,000	△	300	108
千 葉 (23)	57,800	△	800	53,100	4,800	110	1.80	545	97	289,400	19,400	107	5,800	△	1,000	121
東 京 (24)	112	5	105	112	5	105	1.80	417	103	467	34	108	12	△	2	120
神 奈 川 (25)	2,850	0	100	2,840	0	100	1.80	480	104	13,600	500	104	500	△	100	83
新 潟 (26)	119,700	△	100	108,600	7,200	107	1.85	524	102	569,100	46,900	109	18,400	△	2,900	86
富 山 (27)	37,600	200	101	33,700	2,500	108	1.90	512	99	172,500	11,800	107	11,800	△	4,000	151
石 川 (28)	23,200	300	101	22,100	900	104	1.90	507	102	112,000	7,100	107	5,100	△	500	91
福 井 (29)	25,400	200	101	23,300	1,400	106	1.90	495	100	115,300	7,100	107	8,700	△	600	107
山 梨 (30)	4,670	△	50	4,560	△	30	1.85	516	100	23,500	△	300	800	△	100	114
長 野 (31)	31,000	100	100	30,000	1,000	103	1.85	607	100	182,100	6,900	104	5,700	△	1,100	124
岐 阜 (32)	23,900	△	300	20,800	1,200	106	1.80	487	103	101,300	8,400	109	2,100	△	300	117
静 岡 (33)	15,400	△	200	14,700	300	102	1.85	508	108	74,700	6,700	110	2,300	△	600	135
愛 知 (34)	27,700	100	100	25,700	700	103	1.85	487	101	125,200	5,200	104	4,300	△	0	100
三 重 (35)	27,100	0	100	25,700	1,200	105	1.85	496	106	127,500	12,800	111	3,800	△	300	93
滋 賀 (36)	30,700	400	101	29,300	1,900	107	1.90	505	104	148,000	15,400	112	9,600	△	500	105
京 都 (37)	13,800	△	100	13,200	200	102	1.85	520	102	68,600	2,000	103	2,200	△	300	116
大 阪 (38)	4,100	△	200	4,100	△	190	1.80	488	103	20,000	△	200	700	△	200	140
兵 庫 (39)	36,400	700	102	33,600	1,400	104	1.85	493	104	165,600	12,600	108	7,800	△	2,700	153
奈 良 (40)	7,810	△	260	7,750	△	210	1.80	515	100	39,900	△	1,300	1,000	△	300	143
和 歌 山 (41)	5,600	△	90	5,600	△	80	1.80	525	105	29,400	1,000	104	400	△	100	133
鳥 取 (42)	12,900	0	100	12,000	400	103	1.85	514	105	61,700	4,700	108	2,000	△	800	167
島 根 (43)	17,400	△	100	16,100	400	103	1.90	511	105	82,300	6,200	108	5,100	△	1,900	159
岡 山 (44)	29,400	△	300	28,100	900	103	1.85	508	102	142,700	7,800	106	8,200	△	4,400	216
広 島 (45)	21,300	△	400	20,200	100	100	1.85	532	103	107,500	4,000	104	3,200	△	1,000	145
山 口 (46)	18,200	△	100	16,300	500	103	1.85	524	105	85,400	6,900	109	3,800	△	1,200	146
徳 島 (47)	10,700	△	100	9,300	510	105	1.80	501	108	51,600	6,400	114	1,200	△	400	150
早期栽培 (48)	4,280	△	70	…	nc	nc	1.80	486	109	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
普通栽培 (49)	6,420	10	100	…	nc	nc	1.80	510	108	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
香 川 (50)	10,600	200	102	10,100	330	103	1.80	494	103	49,900	2,900	106	1,700	△	700	170
愛 媛 (51)	13,200	△	100	12,700	0	100	1.80	502	102	63,800	1,400	102	2,100	△	700	150
高 知 (52)	11,400	△	200	10,500	400	104	1.80	458	103	48,100	3,300	107	1,000	△	0	100
早期栽培 (53)	6,580	△	160	…	nc	nc	1.80	486	101	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
普通栽培 (54)	4,820	△	80	…	nc	nc	1.80	420	105	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
福 岡 (55)	37,800	700	102	34,500	2,300	107	1.85	459	104	158,400	16,100	111	13,400	△	5,300	165
佐 賀 (56)	26,200	800	103	23,700	1,700	108	1.85	501	104	118,700	12,700	112	6,700	△	1,600	131
長 崎 (57)	10,900	△	200	9,460	100	101	1.80	474	100	44,800	600	101	1,900	△	500	136
熊 本 (58)	41,100	600	101	31,900	3,100	111	1.85	491	101	156,600	16,300	112	11,200	△	2,900	135
大 分 (59)	22,400	△	200	18,900	1,100	106	1.85	472	103	89,200	7,500	109	6,800	△	1,100	119
宮 崎 (60)	22,600	△	200	13,500	1,100	109	1.80	483	103	65,200	7,300	113	1,800	△	100	106
早期栽培 (61)	7,770	190	103	…	nc	nc	1.80	482	105	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
普通栽培 (62)	14,900	△	300	…	nc	nc	1.80	484	103	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
鹿 児 島 (63)	22,200	200	101	17,600	2,000	113	1.80	471	104	82,900	12,100	117	3,000	△	500	120
早期栽培 (64)	6,280	△	40	…	nc	nc	1.80	466	107	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
普通栽培 (65)	16,000	400	103	…	nc	nc	1.80	472	103	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
沖 縄 (66)	666	23	104	597	40	107	1.80	305	96	1,820	40	102	40	△	0	100
第一期稲 (67)	448	3	101	…	nc	nc	1.80	351	98	…	nc	nc	…	nc	nc	nc
第二期稲 (68)	218	20	110	…	nc	nc	1.80	195	98	…	nc	nc	…	nc	nc	nc

注：1 作付面積(青刈り面積を含む。)とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。
2 作付面積(主食用) ①とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量 ②) 及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米)) ③)は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
4 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量 ②) については、都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
5 10 a 当たり予想収量 ⑤) 及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む)) ⑥)は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
6 予想収穫量(生産者ふるい下米) ④)とは、予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む)) ⑥)から予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米)) ③)を差し引いた玄米の重量である。
7 予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米)) ③)及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米を含む)) ⑥)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

ふるい目幅1.70mmで選別					主な収量構成要素（前年比較）					作況 単収 指数	
10a当たり予想収量		C=A+B 予想収穫量 (主食用(生産者ふるい下米含む))			穂数の多少	1も 穂 当 た り の 多 少	全 も み 数 少	千もみ 当 た り の 多 少			
実 数 ⑤	前年産との 比較	実 数 ⑥=①×⑤	前年産との比較								
			対 差	対 比							
kg	%	t	t	%							
547	101	7,477,000	685,000	110	…	…	…	…	102	(1)	
573	97	518,000	22,500	105	…	…	…	…	98	(2)	
585	100	2,113,000	248,000	113	…	…	…	…	101	(3)	
540	101	1,013,000	74,200	108	…	…	…	…	101	(4)	
543	100	1,415,000	133,000	110	…	…	…	…	100	(5)	
508	104	441,200	33,700	108	…	…	…	…	103	(6)	
527	104	493,200	33,600	107	…	…	…	…	104	(7)	
540	105	501,900	38,900	108	…	…	…	…	104	(8)	
503	105	219,400	15,800	108	…	…	…	…	104	(9)	
508	104	760,600	84,600	113	…	…	…	…	103	(10)	
311	95	1,860	40	102	…	…	…	…	97	(11)	
573	97	518,000	22,500	105	やや少ない	前年並み	やや少ない	やや多い	98	(12)	
621	100	271,400	39,600	117	やや少ない	前年並み	やや少ない	やや多い	102	(13)	
557	98	261,200	16,000	107	少ない	やや多い	やや少ない	前年並み	101	(14)	
556	95	363,100	22,600	107	少ない	やや多い	少ない	前年並み	99	(15)	
595	102	483,100	62,900	115	少ない	多い	前年並み	前年並み	103	(16)	
612	105	349,500	44,000	114	やや少ない	やや多い	前年並み	やや多い	102	(17)	
574	101	384,600	63,100	120	やや少ない	やや多い	前年並み	前年並み	101	(18)	
531	98	354,200	29,500	109	やや少ない	前年並み	やや少ない	前年並み	98	(19)	
542	100	314,900	50,300	119	やや少ない	やや多い	前年並み	やや少ない	99	(20)	
516	103	75,900	12,000	119	多い	前年並み	多い	やや少ない	103	(21)	
484	102	148,100	12,900	110	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み	98	(22)	
556	98	295,200	20,400	107	少ない	前年並み	多い	やや少ない	101	(23)	
428	103	479	36	108	前年並み	やや多い	やや多い	前年並み	103	(24)	
498	104	14,100	400	103	前年並み	前年並み	やや多い	前年並み	102	(25)	
541	101	587,500	44,000	108	やや少ない	やや多い	前年並み	前年並み	102	(26)	
547	101	184,300	15,800	109	やや多い	やや多い	多い	少ない	99	(27)	
530	102	117,100	6,600	106	前年並み	やや多い	前年並み	前年並み	101	(28)	
532	100	124,000	7,700	107	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み	103	(29)	
533	100	24,300	△ 200	99	やや少ない	やや多い	前年並み	前年並み	101	(30)	
626	101	187,800	8,000	104	やや多い	前年並み	やや多い	前年並み	102	(31)	
497	103	103,400	8,700	109	やや多い	やや多い	やや多い	やや少ない	103	(32)	
524	108	77,000	7,300	110	やや多い	やや多い	多い	前年並み	105	(33)	
504	101	129,500	5,200	104	前年並み	やや多い	やや多い	前年並み	102	(34)	
511	105	131,300	12,500	111	前年並み	多い	多い	前年並み	104	(35)	
538	104	157,600	15,900	111	多い	やや多い	多い	やや少ない	105	(36)	
536	102	70,800	2,300	103	多い	前年並み	多い	少ない	106	(37)	
504	104	20,700	0	100	多い	やや少ない	やや多い	前年並み	102	(38)	
516	105	173,400	15,300	110	多い	やや少ない	多い	少ない	104	(39)	
528	100	40,900	△ 1,000	98	やや多い	前年並み	やや多い	やや少ない	102	(40)	
533	105	29,800	1,100	104	多い	前年並み	多い	やや少ない	106	(41)	
531	106	63,700	5,500	109	多い	やや少ない	多い	少ない	105	(42)	
543	108	87,400	8,100	110	多い	やや多い	多い	少ない	106	(43)	
537	105	150,900	12,200	109	多い	やや少ない	多い	少ない	102	(44)	
548	104	110,700	5,000	105	前年並み	やや多い	やや多い	少ない	105	(45)	
547	107	89,200	8,100	110	多い	前年並み	多い	やや少ない	107	(46)	
513	109	52,800	6,800	115	…	…	…	…	108	(47)	
496	109	…	nc	nc	前年並み	やや多い	やや多い	やや多い	109	(48)	
524	109	…	nc	nc	多い	やや少ない	やや多い	やや多い	108	(49)	
511	104	51,600	3,600	108	多い	前年並み	多い	やや少ない	102	(50)	
519	103	65,900	2,100	103	多い	前年並み	多い	やや少ない	102	(51)	
468	103	49,100	3,300	107	…	…	…	…	103	(52)	
492	101	…	nc	nc	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや多い	103	(53)	
435	106	…	nc	nc	多い	少ない	多い	やや少ない	104	(54)	
498	107	171,800	21,400	114	多い	やや少ない	やや多い	やや少ない	102	(55)	
529	105	125,400	14,300	113	多い	やや多い	多い	やや少ない	104	(56)	
494	101	46,700	1,100	102	やや多い	やや少ない	前年並み	前年並み	103	(57)	
526	102	167,800	19,200	113	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや多い	104	(58)	
508	103	96,000	8,600	110	やや多い	やや少ない	前年並み	やや多い	104	(59)	
496	103	67,000	7,400	112	…	…	…	…	102	(60)	
488	104	…	nc	nc	前年並み	やや少ない	やや少ない	多い	102	(61)	
500	103	…	nc	nc	前年並み	やや多い	やや多い	前年並み	103	(62)	
488	104	85,900	12,600	117	…	…	…	…	102	(63)	
474	106	…	nc	nc	やや少ない	多い	やや多い	多い	104	(64)	
492	103	…	nc	nc	前年並み	やや少ない	やや少ない	多い	102	(65)	
311	95	1,860	40	102	…	…	…	…	97	(66)	
353	96	…	nc	nc	前年並み	前年並み	前年並み	やや多い	100	(67)	
211	100	…	nc	nc	…	…	…	…	100	(68)	

8 本表における主な収穫量構成要素の前年比較区分は、「多い」が対前年比106%以上、「やや多い」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや少ない」が98～95%、「少ない」が94%以下に相当する。

9 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の作付面積（主食用）は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

10 全国及び全国農業地域における「穂数の多少」以降の指標は、取りまとめているため、「…」で示している。

11 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を作期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

12 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米及び生産者ふるい下米含む））の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量（前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く））の加重平均を用いた。

13 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり予想収量の比率である。